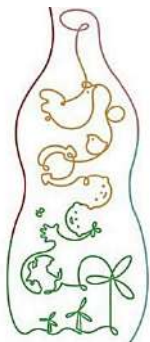


- 1 食の安全にこだわります。
- 2 健康な食べ方を大切にします。
- 3 国内自給力アップをめざします。
- 4 遺伝子組み換え作物を認めません。
- 5 有害物質ゼロをめざします。
- 6 自然資源を大切に使います。
- 7 ごみの削減に取り組みます。
- 8 原発のない社会をめざします。
- 9 おたがいにたすけあう社会をめざします。
- 10 自分たちで決めて、自分たちで実行します。

第一次 生活クラブ
2030
行動宣言



生活クラブはSDGsの理念に通じ、
かつ留まらない活動を実行していくことを約束します。

世界では、格差と貧困、人口増加、生態系を維持できないほどの大量生産と消費、気候危機など、さまざまな問題が立ちはだかっています。SDGs(持続可能な開発目標/Sustainable Development Goals)は、これらの問題を2030年までに解決することをめざした、世界共通の目標です。

生活クラブでは「第一次 生活クラブ2030行動宣言」として8つの重要目標※を掲げ、サステイナブルな未来の実現をめざしています。今回は、重要目標3.について、みてみましょう。

※詳細は生活クラブ連合会ウェブサイトの「理念・ビジョン」を参照してください。⇒



8つの重要目標 No.3

地球の生態系を維持するため、
海や陸の環境保全と気候変動対策に取り組みます。

生物多様性をおびやかす遺伝子操作を行なった食物を扱わないことを基本とし、その生産に反対します。また、生産・流通・消費・廃棄の各段階での環境配慮とともに重点的に温室効果ガスの削減に取り組みます。



● 浪費社会から持続可能な社会へ

生活クラブはこれまで、生産から流通、消費、廃棄に至るすべての過程で「安全・健康・環境」を最大限に追求してきました。大量生産・大量消費という、環境や未来を奪いとり続ける浪費社会から、安心と豊かさを感じられる持続可能な社会への転換をめざし、容器包装についても環境に配慮した取り組みをしています。使い捨てではない容器を選ぶことも、つかう責任を果たし、海洋ごみ問題(プラスチックに頼らない「脱プラ」)や気候変動への対策につながります。

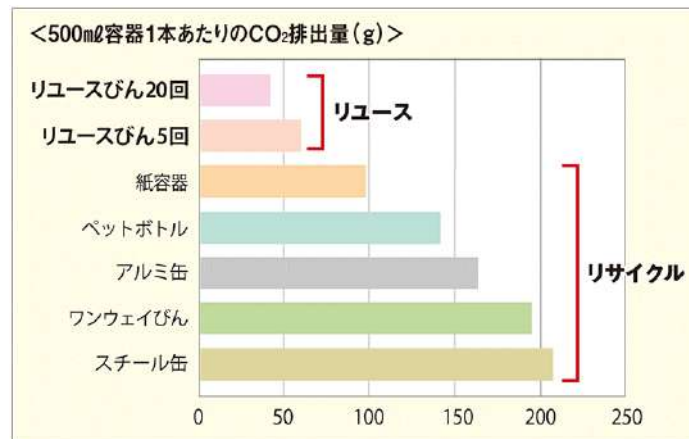


関連する SDGs の目標

● リサイクルよりも
「リデュース」「リユース」

リサイクルと聞くと環境に優しそうな印象ですが、作り直すには膨大な量のお金やエネルギーが必要です。それよりも、同じものを大切にくり返し使う再使用(リユース)や、そもそもごみを出るだけ出さない(リデュース)方が、環境に与える負荷はずっと小さくなります。

リユースびんは、重いびんを運ぶトラックのガソリンや、洗浄に使う水などが多くなるのでは?と心配する人がいますが、資源採取から製造、流通、消費、廃棄までトータルに環境影響を評価したLCA(ライフサイクルアセスメント)では、リユースの方が圧倒的にCO₂排出量が少ないのです。



データ: LCA手法による容器間比較報告書より リユースびんの5回、20回は再使用回数。

2ページに続く



第一次 生活クラブ 2030 行動宣言

8つの重要目標 No.3

地球の生態系を維持するため、
海や陸の環境保全と気候変動対策に取り組みます。

びんリユースの仕組み＝グリーン(G・R・E・E・N)システム

"Garbage Reduction for Ecology and Earth's Necessity(地球生態系のためのごみ減量)"

グリーンシステムは、びんを回収・洗浄してリユース(再使用)し、牛乳キャップなどをリサイクル(再生利用)するしくみです。「使い捨てるのではなく、限りある資源を循環させて使うことが大切」だと、私たち生活クラブは考えています。

家庭から出るごみの容積の約60%が容器や包材によるごみといわれています。生産者の理解と協力を得て、調味料やジュースなどの消費材の容器をリユースびんに切り換え、暮らしの中からもなるべくごみを出さず、環境負荷を減らすことに取り組んでいます。

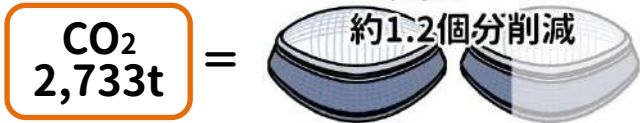


● **これがグリーンシステムの力です**

2020年度は生活クラブ全体でグリーンシステムによって、ごみを4,455トン、CO₂排出量に換算して2,733トン(容積にして東京ドーム約1.2個分)削減することができました。

びんや牛乳キャップ、ピッキング袋を返すという、組合員一人ひとりの「サステイナブルな生き方」が、環境保全に貢献しているのです。

2020年度実績



● **Rびん回収率90%をめざしましょう！**

生活クラブではグリーンシステムの回収率目標を定めて活動していますが、牛乳びん以外は目標に届いていません。特に回収率が80%を下回っているRびんの回収に力をいれています。回収率を高めることは、自治体のごみ回収費用やCO₂削減にもつながります。

2020 年度 回収率の実績

リユース	回収率	回収率目標
Rびん	73.6%	90%
牛乳びん	98.9%	98%
リサイクル	回収率	回収率目標
牛乳キャップ	62.1%	80%
ピッキング袋	38.2%	60%

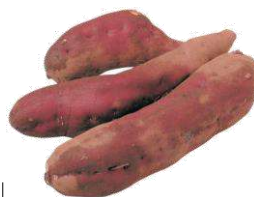


↑「びんにまつわる ちょっといい話」(びん再使用ネットワーク) リユースびんをアニメで紹介する動画をご覧ください。

Rびん回収率UPキャンペーン実施！ チラシを見て応募してね



さつまいも(千葉県産)
1 kg 400円(税込432円)



かも)。お菓子作りに使うぐらいだったのです。しかし、今回は焼くだけで美味しいとのことだったので、久しぶりのチャレンジの結果、「何これ！えっ私の腕が上がった？」と思うくらい美味しかったです。腕は全く関係なく、オーブンレンジではなく、グリルを使ったのが良かったのかなと思います。(多分、皆さんは既に、ご自分流があるとおもいます。)しかし、クリエイター曰く、お芋さん自体が美味しいんですよとのことでした。なので、ぜひ、みなさんもお試しあれ！！ (岸本麻紀)

これからの季節にピッタリ?!「鳴門金時じゃなくても、スゴク美味しいですよ!!」と言うクリエイターの声に若干引き気味になりながらも、試してみる事にしました。まあ、結果はお分かりと思いますが、「確かに...」。実を言うと子どもが大きくなると(私だけかもしれませんが)さつまいもって、そんなに食べる機会がなくなっていました(お芋好きの皆さんを敵に回した



海藻を食べて、体を整え、自然を守ろう！



ひじき(100g) 857円(税込 926円)
肉厚わかめ(300g)948円(税込 1,024円)

ミネラルバランスが崩れると…

肌荒れ、貧血やめまい、むくみや生理不順、骨がもろくなったり、精神的な不安にも関係するのがミネラル不足と言われています。また熱中症予防には水分、塩分補給だけでなく、様々なミネラルが必要。カリウムには余分な塩分を体外に出す作用もあります。塩分を取りすぎると高血圧や脳卒中のリスクが高まるため、カリウムとナトリウムのバランスはとても重要です。熱中症予防にはナトリウムとカリウムをバランスよく摂取し、エネルギー作りに必要なマグネシウムやビタミンB群、酸素を運ぶための鉄分も必要です。ミネラルの宝庫である海藻は、人体のミネラルバランスととてもよく似ているため、体内への吸収がよいともいわれています。

ひじきはすぐに蒸らして乾燥し、丁寧に異物を取り除いて袋詰めされます。このスピーディ、かつ丁寧な重労働のおかげで、美味しいひじきが食卓に届きます。



ひじきの刈り取り風景
(千葉県漁連)
動画はQRコードから。

日本人と海藻

私たち日本人の食卓に馴染みのある、青海苔、昆布、わかめ、ひじきなど、日本ほど多種多様な海藻を食べている国はありません。しかし、わかめやひじきは8~9割を中国や韓国などからの輸入に頼っています。海藻の生産現場は人手不足や高齢化が進み、さらには海藻が育つ「藻場」が化学物質の海への流入や、開発による埋立、磯焼け等で失われているという厳しい現状があります。

重茂半島で自然を守る人たち

私たちの消費材「重茂の肉厚わかめ」は、岩手県重茂半島で生産されています。潮の流れが激しいためわかめが肉厚に育ち、しっかりした歯ごたえが特徴。重茂半島では豊かな海と天然資源を守るために、地域を挙げて1976年から合成洗剤の使用を禁止し、水の源となる森林を豊かにするために植林活動も行っており、生活クラブも参加しています。

貴重な生活クラブのひじき

私たちの消費材のひじきは千葉の房総半島の南端で春先に1年分が収穫されます。刈り取ったひじき30キロを背中の籠に背負って足場の悪い岩場と陸を何度も行き来します。陸揚げされたひ



重茂地域の入り口に立つ看板。



ひじきマリネ

< 材料 >

- ・ひじき 20g
- ・お好みの油 小さじ1
- ・梅酢 小さじ2
- ・しょうゆ 大さじ1

< 作り方 >

- ① ひじきは水で戻し、さっと茹でるか、さっと油で炒める。
- ② 茹でたひじきを油、梅酢、しょうゆで和える。
炒めたひじきは梅酢、しょうゆで和える。



アレンジ自在なひじきの常備菜。

冷奴やサラダのトッピングに。硬めの豆腐とざっくり和えて副菜に。温かいごはんのにせたり卵かけご飯に添えても。好みでごまを加えたり、炒める時に生姜やにんにくを加えても美味しいですよ！

3回シリーズ企画 震災から10年、エネルギーはどう変わったのか



この10年で世界は、原発より成長の見込める再生可能エネルギーに大きくシフトしました。一方、日本は7月21日発表のエネルギー基本計画素案で、再エネを主力電源化させるとしたものの、原発は現状維持となりました。2050年のカーボンニュートラル時代に向け、私たちは、東京電力福島第一原発事故の反省から動き出した再エネの国内利用を、どう広げていくか考えなくてはなりません。今号では、生活クラブでんき生産者との交流会、2企画の報告をします。



第2回 原発事故から学ぶ「会津電力」の挑戦

6月29日、会津電力(株)特別顧問の佐藤彌右衛門さんと参加者11人がオンラインで繋がりました。福島県喜多方市の造り酒屋大和川酒造店の当主佐藤さんは、先々代から「水、食、エネルギーが豊富な地域だから大事にして次世代へ渡していきなさい」と教えられてきたそうです。そんな中、2011年福島第一原発事故が起きました。「怒り」を原動力に原子力に依存しない自然エネルギーを自分たちで作ろうと、2013年会津電力(株)を立ち上げられました。理念・目的は「人、資金、モノ、技術が地元に残る地域の自立」です。太陽光のほか、バイオマス、小水力、風力などの発電所を増やしつつ、ワイナリープロジェクト、古民家再生など地域活性化にも取り組んでおられます。



第3回 風車がつなぐ「つくる人」と「つかう人」

7月27日、秋田県にかほ市にある生活クラブの風車「夢風」(2012年首都圏4つの生活クラブが出資して建設)について、グリーンファンド秋田の事務局長、鈴木伸予さん(生活クラブ神奈川の組合員)に、オンラインでお話を伺いました。参加者は12人。同市は風車建設に適した土地で、50基ほどの風車がありますが、夢風がこれらと違うのは、ただ地方から都市へエネルギーを作って送るだけでなく、地元の特産品を生かした新規消費材と一緒に開発し、首都圏と交流が生まれている点。経済効果は年間3000万円ほどで、夢風が地域活力の呼び水になっているそうです。近年、一部の強硬な再エネ開発に対し課題も出る中、夢風の「つくる人」と「つかう人」が対等互恵の関係であることは、これからの再エネ推進の一つの解になるでしょう。



= 参加者感想より =

豊かな地域や安全な食料など次世代に渡したいものは、普通の買い物や投票で作られていくと実感しました。

あなたも「生活クラブでんき」に切り替えて、再エネ100%の未来をつくりましょう！
お申込みはこちら ⇒



= 参加者感想より =

夢風は地元の人が身近に感じている特別な存在なのですね。無謀なメガソーラーの計画もありますが、一つ一つ地元との対話を重ねるべきと感じました。



100円のたすけあい

問合せ先：組織部(078-904-3260)小松

コーディネーターの役割

エコロたすけあい制度は、組合員の困りごとを組合員が手助け(ケアといいます)するしくみです。

ケア依頼があると、私たちコーディネーターが色々な得意を持ったケア者さんを探し、依頼者とケア者を繋ぎます。まさしく両者を「調整する」のがコーディネートだと思っていましたが、今回コラムを書くにあたり、英語coordinateを辞書で調べ

6月

エコロたすけあい制度利用状況

加入者：1,239人

給付申請件数	1件
給付金額	800円
事務費(審査会会場費、交通費、活動費)	5,820円

エコロ講座講師登録6件 コーディネート成立なし

てみたところ…「対等にする」という意味がトップに出ていました。日本では昔から『困った時はお互い様』と言って、お隣さんや知人をお互いに頼って生活してきたものです。このようなやさしさの原点を、今一度見つめ直したいものですね。

エコロコーディネーター 小椋やよい

「食べることから始める平和 2021」 ～日本ケニア交友会～



今年で3回目となる「食べることから始める平和」企画を、7月30日、日本ケニア交友会東京事務所の富塚比咲子さんと参加者とをオンラインでつないで行いました。運営メンバーも含めて29人が参加しました。

ケニア紅茶の取り組みは…

ケニアの紅茶産業は、世界2位の生産量、1位の輸出量を誇る国の主要な産業です。ケニア山麓では5500戸の農家が協同組合の形を取って、無農薬で育てています。集荷した茶葉を生産者全員で所有する工場製茶、出荷から神戸入港まですべてトレースできる「国際産直」の紅茶です。

生活クラブ生協都市生活との取引は30年以上前、交友会代表のお姉さんが組合員だったご縁で始まりました。ケニア紅茶は色がきれいで大手製品のブレンド用にも使われていますが、日本ケニア交友会では、正当な評価と公正な価格で取引したいという理念で、単体のブランドでも販売しています。

生産者支援と教育支援

日本ケニア交友会は、紅茶を直接・継続的に買い付け、プレミアを支払うことで生産者やその地域を支援しています。利益の一部を地元に戻そうと19の公立小学校に寄付を行い、優秀にもかかわらず貧困のため高校へ進めない学生には、奨学金のサポートをしています。支援を受けた学生は教育支援により学歴をつけ、より高度な職種に就き、自立できます。ケニアの母親は教育熱心だそうです。自分たちが受けた支援が、次世代の教育にも寄与することになります。



私たちにできること

富塚さんから、「山と山は出会わないが、人と人は出会う」というケニアの諺とともに、「美味しい紅茶を飲んで人と人の輪を広げていきたい」というメッセージをもらいました。紅茶を飲むことが生産者支援、教育支援につながっています。私たちの消費行動は社会を変える力を持っています。消費するだけでなく、知ったことを人に伝えて活動の輪を広げましょう。



高品質を保つための一芯二葉の手摘み、美味しさやコクを最大限に引き出すCTC[※]製法のケニア紅茶。猛暑の日々、のど越しの良い水出し紅茶で一息ついてみませんか。

※葉の形状をそのまま残すのではなく、強い圧力をかけながら高速でカット、カールする製法。



水出し紅茶のレシピはケニア交友会サイトで。



富塚さんに、スパイスチャイの淹れ方も教わりました。



「24時間の見守り」～必要不可欠な“夜勤”～

パンセ武庫之荘は、生活クラブ生協都市生活が地域福祉に取り組むための「仲間」として設立した、認定NPO法人都市生活コミュニティセンターが運営している高齢者向けの施設で、尼崎市武庫之荘にあります。今回は、パンセ武庫之荘のサービス計画作成責任者、佐々木京子さんに寄稿して頂きました。

== * == * ==

「訪問」「通い(デイ)」「泊り」の3つのサービスを、連続的・包括的に提供する事業を行っているパンセ武庫之荘。24時間体制で高齢者を最期まで支えるためには、日中の「訪問」「通い(デイ)」はもとより、夜の「泊り」が極めて重要です。いわゆる夜勤対応ですね。

ある夜の宿泊室(6部屋)の泊りは、男性1名・女性3名。認知症が進行している男性は夜中によく一人でおしゃべりをされます。本当に誰か一緒にいるのではないかと思えるような話しぶりで、そのいない誰かを追いかけてベッドから立ち上がりうと

されるので、頻繁な見守りが必要です。

3名の女性の中の90歳のAさんは、これまで「通い(デイ)」だけを利用されていましたが、介助をされている娘さんの骨折がきっかけで「泊り」を始められました。Aさんは病の再発疑いがあるのですが、ご本人も家族も寿命と受けとめたいと、検査を拒否されました。Aさんは「しんどい」が口癖。でも本当にしんどいのだと思います。ナースコールで呼び出される度に「はい、お顔を見に来ましたよ」と返事をします。Aさんは「なんでもないの、ごめんね」と微笑まれます。ご本人も家族も、きっとこのような見守りを望んでおられたのだと夜勤者は心得、笑顔で対応します。その後、Aさんはパンセ武庫之荘で、眠るように静かに息を引き取られたのでした。



**南神戸
支部**

（モニットのみなさんに）

「みなみしんぶん」を届けています

なかなか終わらないコロナ禍。南神戸支部でも、昨年度に続き今年度も企画した支部ミーティング、サステナブル フェス！2021、ほっとコミュニケーションに影響が出てしまうことが有りました。南神戸支部のみんなは食べる事が大好きなので、企画がどうしても「作って食べる」になることが多く、このコロナ禍では難しいことが続きました。

こんな時だからこそ繋がりたい

実際の開催は難しいけれど、みなさんと繋がりたい、情報をお届けしたい！そんな想いで、モニットの皆さんに支部機関紙「ちぬ」とは別に、不定期発行で「みなみしんぶん」をお届けすることにしました。そして、質問や意見、感想等を書く欄を作り返信してもらうことにしました。モニットのみなさんから色々な声が寄せられると、次の新聞でその声に応えるコーナーを設けています。こちらの予想よりもたくさんの方が反応くださり、ラインやメールとは違ってゆっくりな行き来ですが、繋がっている実感を得ることができました。



また、これからは…

新規加入者の皆さんに「生協の使いこなし術」を書いた手紙を送る準備をしています。加入したてでまだ分からない事が多い時に、聞きたいことはたくさんあると思います。そんな時にこそ組合員どうしの繋がりの一助になればと思っています。

（南神戸支部クリエイター 阿蘇美喜）

モニターとは… 所属の支部で登録して、1年間(2年まで登録可能)支部ミーティングに出席。学習・交流・試食などをして生活クラブ生協のことをよりよく知る活動です。お問い合わせは本部センターまで。(078-904-3260)

大好きな消費材

= 月桃アルピニアカット =

1,680円 (税込1,848円)

我が子が和室でよく積み木遊びをするのですが、作った作品は、すぐに壊さず、しばらくは置いていいよというルールにしているのですが、日に日に作品が和室に広がり、なかなか掃除機がかけられません。量なものもあり、変な虫が出てきそうなので、何か対策はないものかと思っていた時に、カタログで「月桃アルピニアカット」を見かけ、効果に防虫と書いてあったので、試しに1つ買ってみました。香りは、爽やかな香りではおのけに匂うので、家族も気に入っています。今のところ、虫は出てきていません。少し値段が張りますが、有効期間が長くて半年はもつので、使い続けてみようと思っています。玄関の靴の臭い消しにも効果があるみたいなので、カタログに出た時は、玄関用にも1つ買ってみたいと思っています。

（南神戸支部クリエイター 赤松摩理子）

今月の組合員

Instagramで魅力を発信

小野 愛さん 北神戸支部 2014年5月加入

加入のきっかけは、知人からの一言。『一度このケチャップ食べてみて。』でした。その日から生活クラブの虜になりました。そして今までの生活習慣や食生活など、全てを見直すきっかけになりました。

もっと生活クラブの事が知りたくて、モニターになり、現在はクリエイターとして活動に参加しています。産まれた時から消費材で育っている息子には、素材の旨味を生かした料理を心がける事で、きちんとした味覚を育てる事ができました。

また、子育て中にご縁があり、地域の子育て応援ボランティア団体『おさがりあいっこサークル』のスタッフとしても活動しています。現在はどちらの活動もコロナ禍で集まるコトが制限され、少しでも『繋がり合える場を』と思い、双方のInstagramを開設しました。北神戸支部のInstagramでは、組合員目線の生活クラブのこだわりや魅力を発信して、多くのファンを増やしていきたいと思っています。

実現したい「電力の地産地消」

住吉川小水力発電所を実現する会 林 まや

生活クラブ生協では多彩な組合員活動が盛んです。
今年度は、その活動とそこで活躍する仲間を紹介します。

「コンセントの先には何がある？が我が家の合言葉」数年前、友人のその一言に背中を押され、何となく躊躇していた生活クラブでんきへの切替を決めました。電力自由化により、環境や人体への危険性を知りながら生活に必要なだからと電気を使う後ろめたさ、無力さから解放され、スッキリしたのを覚えています。何を食べるかを選ぶのと同じく電気も、私たちがどんな社会を望むかという一票を投じることだと言えます。

そんな折、地元の住吉川の流れを利用した小水力発電によって市民の手で自ら電気を作れる、と聞きました。「本当にそんな事が出来るのかな？」と驚きました。知識のなかった私は、ダムで水の流れを堰き止めて生態系に悪影響を与えるイメージが浮かび、心配しましたが、小水力を通じて出会う様々な方からお話を聞いて、元々この地域の歴史は住吉川と共にあり、地域の産業と文化は江戸から昭和まで、最大100基近くの水車を動力とした小水力エネルギーによって栄えてきた事を知りました。小水力発電とは先人達が川の恵みを受けて使い続けてきた自然エネルギーを現代に再び復活させ、未来に繋いでいくものだったのです。

地域の組合員で立ち上げた「住吉川小水力発電所を実現する会」に加わり、学習会や講演会を実施してきました。発電候補地に行って驚いたのは、そこが昔、まさに水車が幾つも回っていた跡地であったこと。大きな水車の溝や、石垣の水路の遺構が山の中にそのまま残っていました。ときに想いを馳せながら、水車と共に歩んだ街の歴史を再発見すると同時に、「電力の地産地消」の機運が高まりつつある今こそ、現代版水車(小水力)をぜひとも実現したいね、と思いを強くしました。



7月24日、小水力の先輩、「PVネット兵庫グローバルサービス」が作った六甲川の発電所を見学。(撮影時のみマスクを外しました。) 後列左端が林さん。

理事会報告

2021年度第3回理事会報告 2021.7.26.10:00~14:40 於:神戸市勤労会館403
理事:18名(内、オンライン出席1名) 監事:3名(内、オンライン出席1名)
以下、報告承認事項(1項目省略)・協議決定事項(1項目省略)
1. エココン審査会報告を受け、6月申請分1件中、1件の給付を承認した。前
回保留とした5件は、申請取り下げとなった。
2. 兵庫県生協功労者表彰へ、前副理事長・職員1名の2名を推薦することを確
認した。
3. 7月度関西運営委員会報告を受け、内容を確認した。
4. 豆匠から、9月休業・10月再開・11月廃業の申入れがあり、やむを得ない
事情として了解した。40年近い長年の関係に感謝し、最終供給に合わせ、組
合員からメッセージを集めて届ける。
5. 第1四半期の事業数値のまとめを確認した。
6. みんなのひろばリーチの参加者を増やす手立てについて提案を確認した。
7. 連合会提案を受け「種苗への遺伝子操作表示を求める署名」に取り組むこと
を確認した。
8. 「3級FP技能士養成講座」の開催提案を確認した。(ほぼ昨年を踏襲し、1月
の国家試験に向け、9月募集、11月開講、最少催行組合員受講者7名とし
た。
(会議報告)
連合理事会、各委員会の報告および各担当理事会の報告を共有した。
(事業報告)
6月度決算報告を確認した。供給高は計画比106.6%、前年比89.8%。経費は予
算比97.8%(人件費95.5%、物件費99.4%)、供給剰余率は計画を下回ったが、経
常剰余金は予算を488万円上回った。6月加入は105名で計画を28名下回り、脱
退は76名で計画を16名超過。
第1四半期数値は、供給高・供給剰余率・損益状況とも計画を超過している。
加入数は計画数値どおり。脱退が計画より多く、純増が25名少ない。回収率・
実利用高が計画を超えた推移となっている。

10月~12月に、「知る」「見る」「たどる」をキーワードに、多
くの方に水車の「自然エネルギーの歴史」と「小水力発電」の可
能性について知っていただく機会として、3回連続講座を計
画しています。9月に配付するチラシをお見逃しなく！



Q 機関紙6月号に載っていた「トレー
サビリティ」とは何のことですか？

A トレーサビリティ(Traceability)とは
「Trace(追跡)」と「Ability(可能)」という意味の2つの単語を組み
合わせた言葉です。生産地から食卓までの、すべての経路を明
らかにできることをいいます。生活クラブでは、あなたのお手
元に届く消費材が、いつ、どこで、どの生産者が、どんなふう
に作った消費材なのかを調べることができ、「トレーサビリテ
ィ」が確立されています。国内では生産の困難なコーヒーやス
ライス類など海外産の食品であっても、消費材としての基準は
国内品と同様です。組合員が生産地に赴き、生産状況を確認す
ることを含め、トレーサビリティを追求した食品を取り組んで
います。

環境創造米キヌヒカリ



「交流の田んぼ」で、生き物調査&草引き



2006年から毎年、神戸市北区の交流の田んぼの企画「田んぼのいちねんを知ろう！」で、体験や交流を継続しています。コロナや悪天候の影響で中止が続きましたが、7月10日(土)、2年ぶりに「生き物調査&草引き」を開催しました。今回はコロナ感染拡大予防のため、お米の生産者には参加を要請せず、例年の半数の参加者45人(大人22人、子ども23人)と、JA兵庫六甲、全農パールライス(株)と運営メンバーで実施しました。

今年の環境創造米キヌヒカリは…

6月は雨が多く涼しかったので稲の生育にも影響がありましたが、生き物調査をした7月、稲穂は順調に成長しています。今年には田んぼの周囲に生えるキシウズメノヒエ(別名夜這い草)に悩まされているとのこと。草引きをして米作りの大変さを体験できました。8月には可憐な稲の花が咲きます。稲刈りまで、太陽の光を浴びて大きく育っていくのを願いました。

交流の田んぼの生き物は…

交流の田んぼでは、生き物も多様。今年には雨の影響で虫の成長が遅く、カエルも小さいようでしたが、絶滅危惧種とされるコオイムシやミズカマキリなど珍しい生き物たちだけでなく、オタマジャクシ、ミズグモ、イトトンボ等多くの生き物がいました。



今年には大きなミズカマキリが見つかりました。

食べることで地域の環境を守ろう！

私たちが減農薬の「環境創造米キヌヒカリ」を食べることは、地域の水環境を守ることにつながり、生き物たちの多様性を育みます。また、水田には気温上昇を防ぎ、ダムのように洪水を防ぐ役割もあります。今日本の食料自給率は38%(2019年度)。その中で米は自給できる唯一の穀物です。水田を減らさないためにも、生産者と組合員で共感できる関係をつくり、田んぼの活動を通して安全な米作りを体験し、環境創造米を食べていきましょう！

職員こぼれ話

名谷センター
かにまさひろ
可児 将大

生活クラブ生協の職員が、日ごろの業務、身のまわりのできごとを通して見たもの、聞いたことをお伝えします。

手製チラシ「かにクラブ」

入協して早10ヵ月目を迎え、部署の諸先輩方や組合員の皆様から多くのことを教えていただき、また助けられ日々成長している今日この頃です。

先日、私の手製のチラシ(かにクラブ)を配る機会がありました。多くの組合員から「絵が上手だね」「字がキレイで見やすいよ」とお褒めの言葉を頂き、喜びを感じるとともに、次はどんな風に描いたらより楽しんでもらえるか等、自身の向上心にもつながっています。また、普段なかなか出会えない組合員の方々にも「チラシ見たよ」と伝えられた時に、チラシならではのコミュニケーションを実感し、これからもわかりやすく、オッ！と目を引くチラシを組合員の皆様にお届けできるよう日々精進したいと思います。

2021年7月号より
生活クラブの野菜

機関紙モニターのつぶやき

毎回野菜を選ぶのが面倒なのと、自分で選ぶとパターンが決まってしまうので、無農薬で旬のものが届く契約野菜「畑の便り」を注文しています。レシピに迷う時などは「ピオサポ便り」を参考にさせてもらっています。無農薬で野菜を作る難しさを改めて感じ、より一層感謝していただかなくてはと思う記事でした。娘が小さいのでぜひ「玉ねぎ引き体験」など参加してみたいです。(西宮 M.R)

編集雑感

猛暑・酷暑が続いたと思ったら、これを書いている8月半ば、豪雨が続き、西日本には甚大な被害が出ています。長年生活クラブで暮らしていると気になるのは生産者のこと。春の遅霜などで長野のりんごが影響を受けると、先月お知らせしました。「気候危機」と言われる昨今、消費材のことがとても心配です。生活クラブがめざす「持続可能な生産と消費」のためにできることとして、私は注文書に「1」と書きます。(T)